

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】平成17年3月10日(2005.3.10)

【公開番号】特開2002-349876(P2002-349876A)

【公開日】平成14年12月4日(2002.12.4)

【出願番号】特願2002-93475(P2002-93475)

【国際特許分類第7版】

F 2 4 C 7/06

F 2 4 C 7/02

【F I】

F 2 4 C 7/06 A

F 2 4 C 7/02 5 3 1 B

【手続補正書】

【提出日】平成16年4月5日(2004.4.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

そして、ユーザは、外装部200に触れることができるため、外装部200が上記の高温にまで加熱される従来の加熱調理装置は、安全性に欠けるという問題を有することになる。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0033

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0033】

なお、タブ部72bには、それぞれ孔72cが設けられている。孔72cは、発熱部材72に供給された電力のうち、タブ部72bを介してベース71へと供給され、発熱部材72における発熱に使用されない電力の量を極力少なくするために設けられている。なお、孔72cの形状は、図7に示したものに限定されない。すなわち、孔72cは、図8に示すように、直線状のものが1つのタブ部72bに複数本設けられてもよく、図9に示すように、1つのタブ部72bに1本ずつ設けられてもよく、図10に示すように、波線状のものが設けられてもよく、図11に示すように、台形状のものが設けられてもよい。